

## 緊急通報装置貸与事業（事例紹介）

### 【安全センター事例紹介】

- 86歳男性

○月○日午前11時36分

「本人が居間でぐったりしている」と、家庭訪問中の民生委員から通報あり。

本人は会話可能だが、嘔吐もされているとのこと。

消化器疾患の既往歴もあり、術後の退院後間もないため緊急対応で救急車を要請。

午前11時36分

救急車出動要請。その後、〇〇病院へ入院の有無について確認。

～高齢者等の安全安心の確保に役立っています～

